

《プロジェクト名 ダリアの里 生産拡大プロジェクト》

市町村	川西町	対象地域	川西全域	分野	園芸
実施主体名	川西ダリア部会	代表者氏名	青木督平	住所又は主たる事務所の所在地・連絡先	川西町大字上小松1034番地
実施主体構成	川西ダリア部会（33名）				

プロジェクト目標（5年後）	産出額（増加額）	90,000千円（22,000千円）					
	独自の目標項目	1) 出荷本数 900,000本 2) 栽培面積 7.0ha 3) 10a/販売額 1,300千円					
各年次目標	現 状	1年目（H22）	2年目（H23）	3年目（H24）	4年目（H25）	最終年（H26）	
	産出額	68,000千円	70,000千円	75,000千円	80,000千円	85,000千円	90,000千円
	独自の目標項目	1) 650,000本 2) 5.8ha 3) 1,170千円	1) 700,000本 2) 5.8ha 3) 1,200千円	1) 750,000本 2) 6.2ha 3) 1,200千円	1) 800,000本 2) 6.2ha 3) 1,300千円	1) 850,000本 2) 6.5ha 3) 1,300千円	1) 900,000本 2) 7.0ha 3) 1,300千円
プロジェクト概要	◎実施方針	平成16年より、「川西町の花：ダリア」を、観賞用から農業生産の重要品目と位置づけ、各関係機関、花卉市場、運送関係者と協議を重ねながら販売になった。現在までに順調に出荷本数・販売金額を伸ばしてきた。今後もダリアの主産地としての自負と責任を果たすべくこの事業に取り組みながら、ウイルス病対策、新品種の提案や品質向上対策に努力する。					
	○産出額の増大	ダリア販売6年を経過して、年々増大している。今後とも花卉の中心として増大に努める					
	○雇用の創出	芽かき作業、出荷調整時には雇用しているが、生産の増加とともに雇用が産まれる（雇用見込み 51人日）					
	○創意工夫	ウイルス病対策、栽培環境の整備、出荷形態の見直しなど					
	○実現性	組織一丸となり実現に努力する。実現性は高い。関係機関との指導や連携を密にする					
	○地域への波及効果	毎年新規栽培者がおり、ダリア栽培は地域の注目を浴びている					
○その他							

事業計画		実施年度（平成22年度）	実施年度（平成23年度）
	事業内容	①ウイルス病対策②球根増殖③品質向上 ④消費PR対策⑤出荷販売対策	①ウイルス病対策②球根増殖③品質向上 ④消費PR対策⑤出荷販売対策